



奥州市消防団強化ビジョンの取組について

1 消防団強化ビジョン策定の経過・目的

奥州市消防団は、平成22年4月に各区消防団を統合し、36分団（137部・150屯所）団員数1,998人で発足しましたが、令和7年4月1日現在で1,451人（143屯所、車両143台）となっており、14年間で27%、547人減少しています。

人口減少や社会情勢の変化により団員数が減少していくなか、将来にわたり地域の防災力を維持するため、地域防災力の中核を担う消防団の組織・機能を強化することを目的に、令和7年5月に奥州市消防団強化ビジョンを策定しました。

2 具体的な取組

ビジョンでは次の取組を進めていくこととしています。

(1) 消防団員の確保への取組

消防団の魅力向上させることにより、団員の確保に取り組めます。

ア 広報活動の充実強化

イ 待遇の改善

(2) 組織の見直しへの取組

自主防災組織等との連携強化や、施設や組織の機能・役割の再配分による機能強化に取り組めます。

ア 自主防災組織等との連携を意識した組織配置

自主防災組織と消防団の連携が円滑に行われるよう、消防団の担当区域を地区センターと同一区域となるように組織を再配置します。

イ 分団単位の組織運営に適した施設配置

分団単位の活動が円滑に実施できるよう、分散された人材・資機材を集約するために必要な規模・機能を有する分団活動拠点施設を配置します。

令和7年6月3日 第1回衣川地域会議 市民環境部危機管理課

ウ 地域の特性に応じた機械器具置場の配置

担当区域内の防火対象物の状況を踏まえ、必要な場合は、分団活動拠点とは別に機械器具置場を配置します。

(3) 設備の充実への取組

担当区域の拡大に対応するため、資機材等の効果的な運用により消防力の強化を図ります。

ア 資機材の集中配備

イ 資機材の高度化

ウ 情報収集能力の向上

(4) 消防行事の見直しへの取組

消防団員の負担軽減を図ることにより、消防団のイメージアップを図ります。

ア 定期的な行事見直し

イ 消防団員の意見を反映させる

4 今後の進め方

令和7年8月までに水沢、江刺、前沢、胆沢及び衣川の方面隊長など消防団員12名で構成する奥州市消防団組織再編検討委員会を設置し、分団や部の統廃合などの組織再編や組織の定員などについて検討を進めていきます。

最終的な再編計画（案）については、令和8年12月頃までにまとめる予定です。

